

平成 29 年度 NPO 法人もったいない学会通常総会

日 時 2017 年 6 月 27 日 (火) 14 時 30 分から 15 時まで
場 所 東京大学農学部内、向ヶ岡ファカルティハウス

【総会資料】

■ 次第

1. 開会

2. 総会成立要件の確認

定款第 26 条により、総会は、正会員総数の 2 分の 1 以上の出席がなければ開会することはできない、とあります。

3. 会長挨拶

4. 議長の選出

定款第 25 条により、総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する、とあります。

5. 議事録署名人選任

定款第 29 条（総会の議事録）により、議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人 2 人が、記名押印又は署名しなければならない、とあります。議事録署名人について、議長より本日出席の正会員の 2 名を指名し、お諮りします。

6. 議題審議

定款第 27 条により、総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる、とあります。

- (1) 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告及び決算報告の件
- (2) 第 2 号議案 平成 29 年度事業計画及び予算計画の件
- (3) 第 3 号議案 事務所移転の件

7. 閉会

第1号議案 平成28年度事業報告及び決算報告の件

I. 平成28年度事業報告

(概況)

皆様のご支援、ご協力のもと、社会に貢献できる学会に発展させるべく、平成28年度も精力的に活動を行いました。

以下に活動状況の詳細をご報告いたします。

【参考：定款で定められている学会の目的は以下の通りです】

「この法人は、広く一般市民に“石油ピーク”を啓蒙し、石油を大切に使う方策を検討し、その知識、知恵を広く一般に広げることによって、心豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。」

1. 学会事業活動

1) シンポジウムの開催

以下のように、1回のシンポジウムを開催した。

1-1) もったいない学会 & 縮小社会研究会関西シンポジウム「もったいないの理念に基づいた変わりゆく未来社会の創造に向けて」—根本理念と実践活動に焦点をあてて—

1. 主催・協賛

<主催>

NPO法人 もったいない学会 & 一般社団法人 縮小社会研究会

<協賛>

NPO法人 コミュニティアーキテクトネットワーク（環人ネット）

2. 日時

平成29年2月11日（土）10:00～17:30

3. 場所

京都大学文学部新棟第3講義室

4. 講演内容

司会

五十嵐敏郎 もったいない学会理事 縮小社会研究会会員 金沢大学非常勤講師

辻村 琴美 もったいない学会理事 環人ネット理事長

10:00～10:15

シンポジウム趣旨説明

五十嵐敏郎 もったいない学会理事 縮小社会研究会会員 金沢大学非常勤講師

10:15～10:45

招待講演

「琵琶湖は避難できない！—関西の原発事情と未来可能社会—」

嘉田由紀子 もったいない学会評議員 元滋賀県知事 びわこ成蹊スポーツ大学学長

10:45～11:15

特別講演

「地球は有限、資源は質が全て」

—G-Zero化する世界、日本はどう生きるか—

石井吉徳 もったいない学会名誉会長 東京大学名誉教授 元国立環境研究所所長

11:15～11:45

基調講演(1)

「再生可能エネルギーの将来」

大久保泰邦 もったいない学会会長 宇宙システム開発利用推進機構技術参与

13:00～13:30

基調講演(2)

「なぜ成長がダメで、縮小が必要か」

松久 寛 縮小社会研究会代表 もったいない学会会員 京都大学名誉教授

13:30～14:00

「再生可能エネルギーを巡る課題と京都府南丹市における取組」

芦田 譲 もったいない学会理事 IET 研究会理事長 京都大学名誉教授

14:00～14:30

「しがエネルギービジョン～新しいエネルギー社会の実現に向けて」

中嶋洋一 滋賀県県民生活部エネルギー政策課課長補佐

14:30～15:00

「風力発電はどこまで伸ばせるか？」

林 農 もったいない学会理事 鳥取大学名誉教授 名古屋産業科学研究所上席研究員

15:15～15:45

「地産地消型自然エネルギー社会の構築に向けた現在の課題とその対策」

三石博行 縮小社会研究会会員 (株)メディエコ研究開発 CEO

15:45～16:15

「新電力を含めた社会システム」

尾崎雄三 縮小社会研究会会員 元弁理士

16:15～16:45

「アフリカにおける勿体無い実践成功例」

松井三郎 (公益) 日本国際民間協力会理事 京都大学名誉教授

16:45～17:30

総括討論

2) サロンの開催

以下のように、6回のサロンを実施した。

2-1) 第1回サロン

日時：2016年6月2日(木) 15:10-17:00

場所：東京大学山上会館会議室201・202 15:10-15:20

挨拶

石井 吉徳(東京大学名誉教授、元国立環境研究所所長)

■ 15:20-15:50

アブダビ石油大学との連携を通して見えてきたもの --- エネルギー・資源論的視点から

松島 潤(東京大学准教授)

福島第一原発から放出された放射性プルーム

■ 15:50-16:00

大久保 泰邦(産業技術総合研究所)

■ 16:00-17:00

「原発再稼動問題と再生可能エネルギーの展望」

中野 桂(滋賀大学経済学部)

2-2) 第2回サロン

もったいない学会勉強会 第1回

開催日時：2016年9月6日(火) 午後14:30～17:00

開催場所：東京大学山上会館会議室201・202

【プログラム】

第1部

■ 14:30-15:30

講義

講師：久保田宏

演題：化石燃料の枯渇がもたらす経済成長の終焉

第2部

■ 15:40-17:00

討論

論点：科学技術の視点から、日本経済の生き残りのためのエネルギー政策を議論する。

2-3) 第3回サロン

開催日時：2016年10月28日(金) 午後14:30～17:00

開催場所：東京大学弥生講堂会議室

【プログラム】

■ 14:30-15:30

「人類生存の科学」－日本列島で生きる(1)、

3つの重要なキーワード「食糧、エネルギー、そして軍事」－エネルギーを主題に

石井 吉徳（もったいない学会名誉会長、東京大学名誉教授）

■ 15：45－17：00

植物の反応をみる－基礎研究から先端的農業や地球観測への応用－（前半）

中国の再生可能エネルギー事情（後半）

大政 謙次（もったいない学会評議員、東京大学名誉教授）

2-4) 第4回サロン

もったいない学会緊急討論会 米国大統領選を考える

開催日時：2016年12月9日（金）15:30～17:30

開催場所：清泉女子大学 1号館3階 131教室

【プログラム】

■15:35-16:30

石油ピークが先進民主主義国の政治に与える影響

～このまま民主主義は崩壊してしまうのだろうか？～

山本達也 清泉女子大学文学部地球市民学科准教授

2-5) 第5回サロン

開催日時：2017年1月13日（金）午後15:30～17:00

開催場所：東京大学本郷キャンパス山上会館201・202会議室

【プログラム】

■15：30－16：30

【講演】

植物の反応をみる－基礎研究から先端的農業や地球観測への応用

大政 謙次（もったいない学会評議員、東京大学名誉教授）

■16：30－17：00

【話題提供と討論】

遺伝子組換えとゲノム編集

住本 勉（もったいない学会会員）

2-6) 第6回サロン 激変する中東地域と迷走する日本

開催日時：2017年2月15日（水）午後13:15～17:00

開催場所：東京大学本郷キャンパス山上会館201・202会議室

【プログラム】

■13：15－13：45

【講演1】

「食料、エネルギー、そして軍事」－G-Zero化する世界、日本はどう生きるか－

石井吉徳 もったいない学会名誉会長 東京大学名誉教授 元国立環境研究所所長

■13：45－14：15

【講演2】

「関西シンポジウム」の報告

五十嵐敏郎 もったいない学会理事 金沢大学

3) その他の啓蒙活動として、コラムサイト（シフトム）を通じた情報発信、シンポジウム・サロン講演資料の会員限定公開を実施した。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

・4回開催。

（平成28年4月23日、6月2日、9月6日、1月13日）

・適宜メール審議

※理事会議事録は学会HPで公開しております。

2) 総会

通常総会を1回開催した（平成28年6月2日）。

3. 会員の状況

会員の現況（平成29年3月31日現在）

※カッコ書きは前年度
正会員：119名（126名）
一般会員：104名（108名）
学生会員：2名（2名）
賛助会員：2名（2名）
計：227名（238名）

Ⅱ．平成 28 年度決算報告

下記資料を参照下さい。

- ・収支計算書（案）
- ・貸借対照表（案）
- ・財産目録（案）
- ・監査報告書

第 2 号議案 平成 29 年度事業計画及び予算計画の件

平成 29 年度事業計画（案）

【方針】石油ピークが早晚、石油減耗に至る転換期にあるとの時代認識を共有し、自然と共生する低エネルギー社会などの理念の実現に向けて、社会へ情報発信を行う。具体的には、理解のためには専門的知識を必要とする社会に生きるさまざまな資源、エネルギー、環境に関する科学・技術を科学的、中立的に研究し、その成果を体系的にかつ国民が理解できる内容でまとめて発信して、平和的な文明転換の国民的な活動強化に貢献する。

具体的には入会金と年会費無料の「支援会員」を設け、積極的に SNS で公開されている動画、インターネットでアクセスできる優れた報文、優れた書籍などを紹介し、情報を共有する会員を増やす。さらに学術大会、シンポジウム、サロンを開催して成果をまとめ、もったいない学会の電子出版としてインターネットを通じて公開し、有料会員を増やす。

1. 学会事業活動

1) 学会 WEB の発信力向上

調和性・戦略性を十分吟味することにより情報発信力の向上につとめ、信頼・支持される学会 WEB を構築する。学会 WEB、コラムサーバ等におけるコンテンツ内容・構成の工夫に努める。29 年度の具体的取組として、

- ・ホームページの構造と内容の改善および運用方法改善による学会の基本的情報活動強化
- ・学会コラム誌シフトムの機能改善、および学会役員、会員の投稿の強化。学会役員の目標投稿数の設定。
- ・SNS（Facebook, Twitter 等）への学会役員、会員の参画の拡充

2) シンポジウムの開催

平成 29 年度中にシンポジウムを 1 回以上程度開催する。東京一極集中から地方分散の考えを踏まえ、その際地域での普及も重視した地方開催も予定する。

3) サロンの開催

平成 29 年度中にサロンを 4 回程度開催する。

4) 学術及び活動報告大会の開催

会員の活動発表の場として、平成 29 年度中に 1 回程度開催する。

5) 出版事業

- ・WEB 会誌発行

「もったいない学会 WEB 学会誌」の編集・公開業務を行う。特集号を企画する等して論理深度を深める。

- ・啓蒙・教育を目的とした新規刊行物の作成・出版・販売として電子出版事業を、国際的な発行を含めて計画する。

6) 表彰など

顕著な事業を行っている活動者・団体を顕彰する。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

平成 29 年度中に 5 回程度開催する。

・学会の活動の執行機関として、理事の役割分担と協同の体勢の向上を図り、会員と社会の真の進歩に貢献する。

2) 総会

通常総会を 1 回開催し、必要に応じて臨時総会を開催する。

平成 29 年度事業予算計画（案）

平成 28 年度 予算（案）		（単位：円）	
収入の部		支出の部	
項目	予算	項目	予算
会費収入	590,000	事業費	300,000
正・一般・学生会員	505,000	シンポ・サロン・講演会開催費	50,000
賛助会員	70,000	WEB サーバレンタル・管理費	150,000
正会員入会金	15,000	学術・事例報告大会開催費	100,000
事業収入	10,000		
書籍販売	10,000		
		管理費	300,000
		事務作業委託費(印刷・通信費含)	275,000
		振込手数料	10,000
		消耗品費	10,000
		租税公課	5,000
小計	600,000	小計	600,000
昨年度からの繰越金	908,268	予備費	908,268
収入合計	1,508,268	支出合計	1,508,268

第 3 号議案 事務所移転の件

これまで学会の事務作業ならびに学会登記住所として、大学生協学会支援センター（以下センター）に委託していたが、センターが平成 29 年 3 月末を持って業務終了することに伴い、株式会社毎日学術フォーラム（東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル）に学会の事務作業ならびに学会登記住所を移管することとしたい。

【旧・学会登記住所】

東京都杉並区和田 3 丁目 30 番 22 号

【新・学会登記住所】

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル

平成 28 年度

会計貸借対照表

平成29年 3月31日現在

特定非営利活動法人

石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	908,268		
未収入金			
.....			
流動資産合計		908,268	
2 固定資産			
土地			
建物			
車両運搬具			
.....			
固定資産合計		0	
資産合計			908,268
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
未払金	0		
.....			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金			
退職給与引当金			
.....			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	1,245,402		
当期正味財産増減額	-337,134		
正味財産合計		908,268	
負債及び正味財産合計			908,268

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 タイトルの年度の後の空欄部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては、「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別業として作成する。
- 3 定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、前事業年度に実施しなかった場合でも収入支出0円の収支計算書を作成する。
- 4 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する支出で、管理費以外のものをいい、会計処理上は、事業の種類毎に区分して記載する。事業費の例としては、「〇〇事業費」（注 当該事業の実施のために直接要する人件費・交通費等の費用が含まれる。）というように事業毎に記載する。
- 5 重要な会計方針等を計算書類に対する注記を欄外下に記載する。
（重要な会計方針とは、原価償却の方法及び資金の範囲等をいう。）
- 6 管理費の支出規模（管理費の合計）は、総支出額（事業費及び管理費の総計）に占める割合の2分の1以下であることが必要。（事業費>管理費）
（詳しくは東京都における運用方針参照のこと。）
- 7 特定非営利活動促進法第5条第1項により、その他の事業において収益を生じたときは、これを特定非営利活動のために使用しなければならないとあるので、その他の事業の収益は特定非営利活動に係る事業会計に全額繰り入れることが必要。
（詳しくは東京都における運用方針参照のこと。）

平成28年度

会計財産目録

平成29年 3月31日現在

特定非営利活動法人

石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

科 目	金 額 (単位: 円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金		
普通預金	908,268	
未収入金		
未収会費		
.....		
流動資産合計	908,268	
2 固定資産		
土地		
建物		
車両運搬具		
.....		
固定資産合計	0	
資 産 合 計		908,268
II 負債の部		
1 流動負債		
未払い金		
預り金		
短期借入金		
流動負債合計	0	
2 固定負債		
長期借入金		
退職給与引当金		
.....		
固定負債合計	0	
負 債 合 計		0
正 味 財 産		908,268

監査報告書

私は、定款に基づき、平成 28 年度の事業報告書、収支決算書の監査をした結果、いずれも適正かつ正確に執行されていたことを認めます。

2017 年 6 月 26 日

もったいない学会

監事 佐藤 裕久

佐藤 裕久

(自書)

印